



<p>SDC デンタル ニュース</p>		<p>第13号 2010.4月号</p>
------------------------------	---	-------------------------------

みなさん、こんにちは。すすき歯科医院、院長の鈴木です
 4月18日は「よい歯の日」。「4（よ）1（い）8（歯）」の語呂合わせで、11月8日の「いい歯の日」同様、日本歯科医師会が制定した記念日です。約半年ごとに歯の記念日が巡ってくるので、めったに歯科に寄りつかないという方も、自分の歯の健康を維持するために、この記念日をきっかけにして定期歯科健診に足を運んでいただきたいと思いますものです。また、18日や8日など、「歯」を連想させる日にちを、歯ブラシの交換日に決めておくのも良いことですよ。歯ブラシは定期的に交換するのを忘れがちですが、理想は1ヶ月毎の交換です。道具を惜しまないことが歯の健康につながる第1歩です。

すすき歯科医院からのお知らせ



4月18日は「よい歯の日」。
よい歯を守るために歯科検診を受けましょう。



すすき歯科医院

住 所 伊勢崎市境下湊名1158
 電 話 0270-70-6480
 F A X 0270-70-6481
 診療科目 一般歯科、小児歯科、歯列育成（矯正歯科）、審美歯科、
 歯科口腔外科、インプラント、予防健診（ライフサポート）

受付時間	月	火	水	木	金	土
午前 8:30~12:00	○	○	○	休診	○	○
午後 14:00~17:30	○	○	○	休診	○	○ (~16:00)
休診日：日曜・祝日・木曜（祭日のある週は診療いたします。ハッピーマンデーの週は休診）						

親知らず

子供の歯である乳歯は全部で20本、大人の歯である永久歯は、「親知らず」と呼ばれる第三大臼歯を含めると32本の歯で構成されています。ただ、この上下左右4本の親知らずは、生え方や生える時期に個人差があり、生えてこない人もいます。

★親知らずの特徴

個人差はありますが、一般的に20歳前後に生えてくるといわれている第三大臼歯。親知らず・智歯（ちし）とも呼ばれています。20歳前後の年齢では、親は子供の口の中の状態を見ないし知らないから「親知らず」と名付けられたと言われています。英語では「Wisdom tooth（分別のつく年頃に生える歯）」というそうです。奥歯の一番奥に、人知れず最後に生えてくるのが親知らずなのです。

★親知らずの生え方

親知らずの生え方には、代表的な次の3タイプがあります。

①まっすぐタイプ

普通の奥歯と同じようにまっすぐに生えてきている。

②斜め傾きタイプ

親知らずが斜めに生えていて、隣の奥歯にぶつかっている状態。親知らずのトラブルで一番多いタイプ。

③水平埋伏（まいふく）タイプ

親知らずが見えず埋もれていて、完全に横に倒れて、隣の奥歯の根元を横から押すような感じでぶつかっているタイプ。ほとんどが下あごで起きる。

★歯垢が溜まりやすい

親知らずは、お口の最も奥に生えるため上記の3タイプのどの生え方をしても、歯ブラシが届きにくく、磨き残しが発生しやすく、歯と歯肉の境目に歯垢が溜まりやすくなります。そのうえ、奥にスペースもなくきれいに磨くのが難しいので、虫歯になったり歯肉に炎症が起きて、親知らずが痛むことになるのです。

★親知らずの問題点とは

親知らずが生える年齢は、ちょうど大学受験や就職活動など、人生や環境が大きく変わる時期と重なります。そんな時期に痛みが続いたり、歯の生え方や抜歯の影響で治療が長引いたりすることもあります。また、親知らずが虫歯や歯肉炎になり、治療が遅れると、隣りにある何の問題もない歯も失う場合があります。親知らずの状態にはとても個人差がありますが、まだ生えていなくても、事前にレントゲン撮影で親知らずのタイプがわかりますから、気になる方は早めに歯科で診てもらいましょう。



皆さんのライフサポーター すずき歯科医院

